

各位

メディシノバ・インク
代表取締役社長兼CEO
岩城 裕一
(コード番号：4875 大証ヘラクレス)
問合わせ先 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号 03-3519-5010
E-mail info@medicinova.com

欧州神経学会第18回会議における

多発性硬化症治療薬 MN-166 の追加解析結果発表のお知らせ

2008年4月2日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ・インク（米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼CEO：岩城裕一）は、欧州神経学会第18回会議にて、多発性硬化症¹の新規の経口治療薬として開発中のMN-166¹のフェーズ2臨床試験について、2年間のプログラムの最初の1年間に得られたデータ²の追加二重盲検解析結果²を発表することをお知らせいたします。本会議は、フランス、ニースにおいて2008年6月7日から6月11日まで開催されます。

今回の解析では、MN-166を投与した被験者群において、プラセボ投与群と比較して、新規の炎症性病変が持続性のブラックホール（MRIで確認される永続的な脳の病変で、脳内の神経細胞の死滅を示唆すると言われていています）に進展する割合に、有意な減少が認められました。この結果は、再発性多発性硬化症において、MN-166が神経保護効果を持つという当社の仮説を裏付けるものとなっております。当社は、今回の追加解析結果を下記の口頭プレゼンテーションにより発表いたします。

記

タイトル MN-166に認められた、多発性硬化症における炎症性新病変から持続性ブラックホールへの転換防止効果
論文執筆者 R.ガンマンズ、F.バークホフ、H.ハルスト、R.ランディン
日時 2008年6月10日(火)

以上

メディシノバ・インクは、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息、多発性硬化症、喘息急性発作、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不

安障害、切迫早産、尿失禁および血栓症など、多様な疾患の治療を目的とする臨床段階の化合物が揃っております。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバ・インクの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950（電話 1-858-373-1500）です。

このプレスリリースには、1995 年米国民事証券訴訟改革法(The Private Securities Litigation Reform Act of 1995)に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述などが含まれます。これらの記述は、当社の経営陣がその時の状況下において合理的であると判断して立てた前提に基づくものです。このような記述は、臨床試験の結果、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものがあります。したがって、実際の当社の業績は「将来の見通しに関する記述」に表現される、あるいは、示唆されるものと大きく異なることがあります。

ご参考

1. 多発性硬化症および MN-166 の詳細については、弊社ウェブサイト (<http://www.medicinova.jp/outline/mn166.html>) をご覧下さい。
2. 本臨床試験の最初の 1 年間の結果及び追加解析結果につきましては、2007 年 3 月 27 日付及び 2008 年 2 月 1 日付の当社のプレスリリース

<http://www.c-direct.ne.jp/japanese/uj/pdf/10104875/00057805.pdf>
<http://www.c-direct.ne.jp/public/japanese/uj/pdf/10104875/00068463.pdf>

をご参照ください。